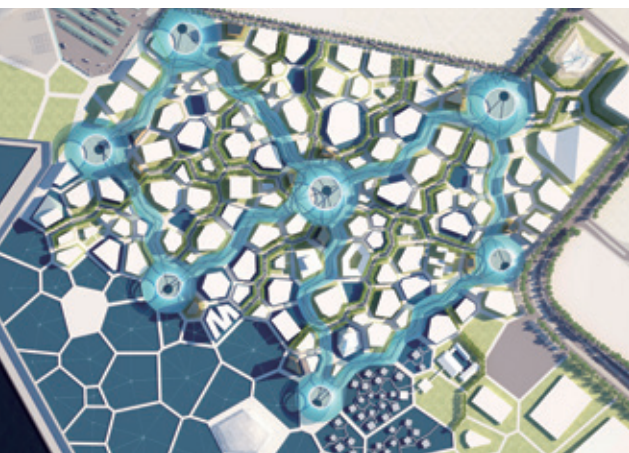
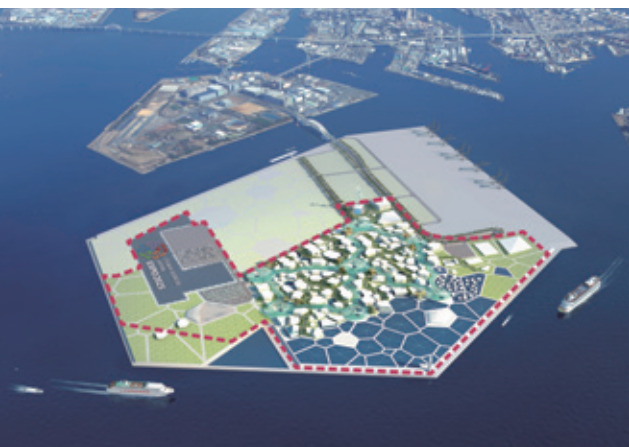




上／会場は大阪のウォーターフロントに位置する人工島・夢洲
下／非中心・分散型のパビリオン配置
出典：ビッド・ドシエ（立候補申請文書）（経済産業省作成）

持続可能な開発目標（SDGs）



国際連合広報センターより

求められるものも変化している。
「今や万博の開催目的は『人類社会の課題解決の場』。立候補国は、国連の持続可能な開発目標（SDGs=Sustainable Development Goals）で掲げられているような、国際社会の共通課題に解決力を示していく必要がある」と、小林さん。
立候補国がBIEに提出する立候補申請文書「ビッド・ドシエ」にも記されているように、環境問題にフォーカスするフランス、イノベーションに重点をおくロシアなど、各国が特色を打ち出すな

大広場「空」
出典：ビッド・ドシエ（立候補申請文書）（経済産業省作成）

大阪・関西で万博を

5年に1度開催される国際博覧会（万博）。今回は2020年にアラブ首長国連邦のドバイで開催される。その次の開催は2025年。「開催地に大阪・関西を」と、日本が名乗りをあげた。

ポーツイベントが続き、観光集客も含めた活性化が期待されるなか、そのあとに続くものとして万博誘致への動きが生まれた。

15年に自治体や経済団体による検討の場が設けられ、翌年、地元関西としての基本構想案を策定。17年3月全国組織として誘致委員会が設置され、4月にパリのBIE（博覧会国際事務局）に正式に立候補を表明。日本（大阪・関西）のほかフランス（パリ郊外サク

いのち輝く未来社会のデザイン

ロンドンで第1回の万博が開催されたのは1851年。かつての万博は、最先端技術や珍しいものを集め、近未来や非日常を体験できる場であり、国威発揚の場だった。しかし21世紀に入り、万博に

レ、ロシア（エカテリンブルク）、アゼルバイジャン（バクー）が手を挙げ、18年11月の開催地決定に向けて誘致活動がスタートした。

立候補国の万博構想

	テーマ	開催地	開催期間（2025年）
日本	いのち輝く未来社会のデザイン	夢洲（大阪・関西）	5月3日～11月3日
フランス	共有すべき知見、守るべき地球	パリ郊外サクレ	5月1日～10月30日
ロシア	世界の変革・子供や将来世代のための包括的なイノベーション	エカテリンブルク	5月2日～11月2日
アゼルバイジャン	人的資本	バクー	5月10日～11月10日

2025年万博の 大阪・関西開催に向けて

2025年の万博開催地に手を挙げた大阪・関西。
フランス、ロシア、アゼルバイジャンも立候補を表明し、
18年秋の開催地決定に向けて誘致活動が本格化している。
日本・関西にとっての開催意義は？ 誘致獲得への課題は？ ——
関西経済連合会 万博推進室長の小林義彦さんに話を聞いた。



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

か、日本（大阪・関西）のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」、サブテーマは「多様で心身ともに健康な生き方」「持続可能な社会・経済システム」。日本での万博開催を通じて、SDGs達成目標年である2030年に向けて、世界の人々に幸福な生き方と社会・経済の未来像を示し、世界共通の課題に大きく貢献できることを示す。「日本の得意分野であるIoTやAIなどの先端技術を活用し、世界の課題解決に貢献していく。それが、日本の科学技術基本計画の中核コンセプトである『Society50』と一貫性を持つことも、強みの一つ」

ライフサイエンス分野をはじめとした最先端技術、それを支える中小企業が集積し、豊かな文化が息づく大阪・関西で開催することも、未来社会を考え創造していく万博の場にあふらしい。

開催意義を世界にPR

2025年の万博開催地は、立候補国による3回のプレゼンテーションや、BIE調査団による現地視察等を経て、18年11月、BIE加盟約170カ国による投票で決定する。

17年6月にBIE総会で行われた第1回のプレゼンでは、誘致委員会会長（経団連会長）や大阪府知事が演説し、日本および大阪・関西の優位性をアピールしたほか、ビデオには安倍首相も登場。国家首脳がメッセージを伝えたのは日本だけで、コミットメントの高さを示した。また、17年11月のBIE総会では、発展途上国で安全な飲み水の普及に取り組む在阪企業



上／BIE総会でのプレゼンテーション(17年6月)
下／アスタナ万博でもPR(17年7月)

で働く女性などが演説した。開催地に選ばれるために最も重要なことが、BIE加盟国に向けて、日本開催の意義や大阪・関西の魅力をアピールすることだ。日本の技術や投資への期待も大きい。健康・ライフサイエンス・環境分

上／JR新大阪駅のデジタルサイネージでPR
下／阪神甲子園球場でPR映像を放映



上／関電ビル頂上部を万博誘致ロゴマークの5色でライトアップ
下／未来社会デザイン会議



「単なる半年間のお祭りで終わってはいけない。アスタナを訪れたとき、現地の子供たちが『一緒に写真を撮って』とやって来た。万博では、そんな人と人との触れ合いが生まれる。民間の交流が、経済的なつながりに発展することもめざしたい」

1970年万博から55年ぶりの大阪万博実現へ、オールジャパンで挑んでいる。



誘致委員会への入会方法

誘致委員会ホームページ

会員募集

会員登録フォームから登録

<http://www.expo2025-osaka-japan.jp/>

EXPO 2025 検索

会場南西側の鳥瞰図。淡路島・明石海峡大橋が見える 出典:ビッドシエ(立候補申請文書)(経済産業省作成)

